

サハリン事務所現地レポート

2017年11月

(件名) 北海道医療大学の取組み：ハバロフスク医療機関との新たな協定締結 報告者：主査 阿部 大祐

11月20日、ハバロフスク市において、北海道医療大学と同市に所在する「医療従事者職能向上研修機関」の間で、両教育機関の間における教育・研究の活発化を内容とする協定の締結が行われた。締結式においては、山本・在ハバロフスク総領事臨席のもと、両機関の学長が協定書に署名を行った。北海道医療大学は、これまでもサハリン州保健省や極東国立総合医科大学（在ハバロフスク市）とも協定を結び、シンポジウム、専門家研修及び現地でのセミナーを通じて、ロシアの医療技術の向上と生活の質の改善に寄与してきた。今回の協定締結により、さらに幅広い医療・教育交流のきっかけとなると考えられる。

また、同市を訪問した浅香・医療大学学長の講演会が市内で開催された。会場は、定員である270人を超えて満席となり、医療専門家、医学生、看護学生が出席していた。講演会では、浅香学長がこれまで取り組んできた、ピロリ菌の除菌による胃がん予防に関する研究成果や、この研究に基づくロシアにおける胃がん対策について発表が行われた。発表後の質疑においても、浅香学長が感心するほどのレベルが高く多くの質問があり、現地における健康医療技術への関心の高さが感じられた。



(件名) 釧路市とホルムスク市の幼稚園・保育園交流について

報告者：所長 桜井 達美

この度、釧路市の認定こども園「釧路はるとり保育園」とホルムスク市（以下、ホ市）の「ウリブカ幼稚園」との間で友好・交流に関する協定が締結された。はるとり保育園の運営法人であり、協定締結のためにサハリンを訪問した社会福祉法人若草会の関係者に同行したので報告する。

両市の間では1975年から姉妹都市関係が築かれている。また、1988年には釧路わかさ保育園（若草会が運営）とホ市ドルーシバ幼稚園が姉妹園となっていた。こうした中、2015年に友好40周年を記念して釧路市長を団長とする代表団がホ市を訪問した際に、ホ市側から「新たに創設された市内の幼稚園と釧路市内の園との間で新しい協定を結びたい」との申し出があり、今回それに応える形で協定締結に至った。

滞在中、一行はこれまで長期間に亘って交流関係にあるドルーシバ幼稚園と2013年に開設したウリブカ幼稚園を訪問し、それぞれの園において、指導者、子供たちから大きな歓迎を受けた。施設の視察だけでなく、子供たちによる民族舞踊等の演目鑑賞を通して、サハリンにおける幼稚園教育の一端に触れることができたのではないかとと思われる。そして、ウリブカ幼稚園では、はるとり保育園を紹介するプレゼンテーションも行われ、その後、両園関係者による協定書へのサインが行われた。（調印日11月24日）

また、一行はホ市市長・議長を表敬訪問した。スホメソフ市長からは、「大人だけでなく子供に関する交流も通して、両市間でより良い環境を醸成していきたい」旨の発言があった。この他、釧路市の2園の園児が作成した絵画や書道などの作品を、ホ市民の鑑賞用に市文化会館に展示した。

新しい幼稚園・保育園間の交流が両市の今後の交流拡大に向けた礎となることを期待する。



協定書を交換する関係者



ホ市市長表敬訪問



釧路市内の保育園児の展示について取材を受ける関係者



ウリブカ幼稚園児における歓迎の演目披露